

事例① 自校の現状把握

小学校

中学校

高等学校

★ポイント

- 教職員同士が、授業をはじめとする教育実践の実態を伝え合い、コミュニケーションの活性化を図ることで、相互に抱える課題を見だし、共通認識をつくる。
- 個人的な悩みでしかないと思い込んでいる課題の中から、組織全体としての共通課題を見つけ出す。

■関連する視点：視点2—実践的なチーム編成 視点3—問題の発見と共有

研修の計画

◇ 目的

自分の関心事や仕事に対する思い、自校の現状等について感じていることを語り、聴き合うことを通して、互いを知り合い、関係性を深める。

◇ 所要時間 : 約70分

◇ 方法・形態 : 4～6人のグループでの話し合い

◇ 対象者 : 全職員

◇ 展開

内容	留意点	資料
■研修の目的、方法、進め方等の確認 (5分)	・目的を確認した上で、話し合いのルール(約束)を示すなどして、効果的に進められるようにする。	・話し合いのルール ・ホワイトボード ・付箋
■話し合い【テーマ例】 ※①②③の中から、いくつか選んで行う。		
1 自己紹介(相互理解) (20分)	①最近の「マイブーム」は何ですか。 ②この学校に入ったときどんな印象をもちましたか。 ③あなたの教職経験の中で最も充実していた(喜びを感じた)のは、どんなときですか。	・話しにくいときは、2人組で行う。
2 学校や私たちを取り巻く状況について感じていること (20分)	①この○年間、私たちの周りで何が起こり、それについて私たちはどのように変わってきたのでしょうか。 ②今、私たちに影響を与えているものは何ですか。 ・追い風、または向かい風になっていること ③このままだと○年後、この学校や私たちはどうなるでしょう。	・自分たちが置かれた環境や、それに対する認識を語り合う。 ・知っている情報や調査データ等を持ち込み(共有し)、全員が同じ土俵で考えられるようにする。
3 自校の現状について感じていることや思っていること (20分)	①本校は今どんな状態にあると思いますか。この学校を言い表すのにぴったりの形容詞を考えて付箋に書きましょう。(付箋を分類する) ②あなたはどんな思いで仕事をしていますか。私たちがやっていることやこの学校に対して、あなたが誇りに思う(自慢できる)ことは何ですか。逆に、残念だ(悔しい)と思うことは何ですか。	・改善策を考えるための分析ではなく、現状や将来のイメージの共有に努める ・学校がかかえる問題や自分が感じていること、他者への要求や願望などを語り合う。
■振り返り (5分)	話し合いを通して気付いたこと、感じたことなどを書いたり話したりする。	

◇ 評価

互いに関心をもち、仕事や自校の現状等について感じていることや考えていること(思いや感情)を語り、共感的に聴き合うことができたか。

研修の進め方

準備 —話し合いの場のデザイン—

参加者が気楽に話し合えるような環境を整えます。

- メンバー
 - ・全員が向き合って対話できる人数（1班4～6人）
 - ・学年ごと、または複数学年合同
- 場所
 - ・会議室や図書室など、落ち着いて話し合える場所
- 会場づくり
 - ・参加者が親密に話し合えるような机・椅子の配置
 - ・ホワイトボード

説明 —研修の目的、進め方等の確認—

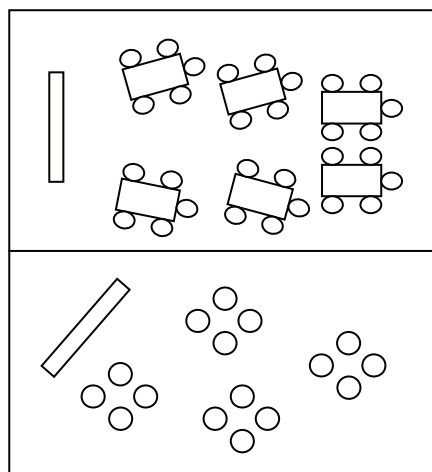
研修の目的を確認し、話し合いのルールを説明します。

（説明の例）

「本日の研修では、先生方が仕事をしていくうえで大切にしていることや課題に思っていることなどを語り合い、我が校の現状や課題について確認していきたいと思います。」

「情報や課題を共有することが目的ですので、次のルールを意識して話し合いを進めるよう、お願いします。」

【会場のレイアウト】（例）



【話し合いのルール】（例）

- 年齢や肩書きを忘れ対等な関係で。
- 思ったことを素直に、本音で語る。
- よく聴いて受け止め、共感し合う。
（批判厳禁）
- 無理にまとめたり決めつけたりしない。

話し合い—本校の現状について感じていること—

本校の現状を言い表す一言を付箋に書き、それらを出し合って、整理していきます。

【本校のイメージ】（例）

○ポジティブ

- 明るい
- 積極的な
- 熱心な
- 協力的な

○中庸

- 個性的な
- 激しい
- 干渉しない
- 平凡な

○ネガティブ

- 忙しい
- さわがしい
- きつい
- 自分勝手な

期待される振り返り

- ・他の人はできている、悩んでいないように見えていたので、自分と同じような感想や悩みをもっている人がいることが分かり、気持ちが楽になりました。
- ・自分とは違う視点で課題を捉えている人がいることが分かり、問題点がたくさんみえてきました。
- ・「誇りに思うこと」を出し合うことで、本校のよさや取組の成果について確認することができました。

工夫

●意見を出やすくするには・・・

- ①はじめに、話し合いを効果的に進めるためのルールを示します。
担当者が、予め参加者に説明をして同意をとり、全員から見える場所に掲示しておく。
- ②付箋に各自の考えを書いてから、話し合うようにします。
・本校の現状について感じていることを付箋に書いて模造紙に貼る。
・貼られた付箋を分類し、タイトルをつける。

参考資料・情報

・「チーム・ファシリテーション 最強の組織をつくる12のステップ」朝日新聞出版 2010年